

## かみくげ 恐竜の里新聞

平成22年12月25日

発行：上久下恐竜の里づくり協議会

第29号

上久下  
地域づくり  
センター  
0795 78 0001

## 山南化石工房が新装オープン

12月4日、丹波竜化石工房「ちーたんの館」が丹波市山南支所に新装オープンしました。

従来の山南住民センター内の化石工房の約5倍の広さで、発掘調査時に地表に現れた骨の分布の再現模型（産状レプリカ）や全身骨格を壁面に吊るした全体像、新しくなった化石クリーニング室やその他各種展示物に見学者は熱心に見入っていました。

上久下地区から見学に来た60歳代の男性は「これで自信を持って丹波竜の里の訪問者に見学をお勧めできる」と喜んでいました。

午前中の式典につづき、午後には、やまなみホールで開催の基調トークやモンゴルアカデミーの研究者による講演、その後の地才地創シンポジウムには会場一杯の参加者が熱心に耳を傾けていました。

12月5日には同じやまなみホールでこどもたちを対象にした「恐竜・子ども夢フォーラム」が開かれ全国から特別参加の著名な研究者たちが子どもたちの頃の恐竜に対する思い出話などを子どもたちに披露していました。会場からは4歳の子どもから愛らしくも、年齢を超えた



驚くほどの内容の質問がでて、壇上の研究者たちも目を丸めていました。

参加者の多くは阪神間からの子どもたちで、遠くは岡山県からの親子づれもあり、丹波竜が広く関心を持たれています。化石発掘体験を見守る指導員は「もう少し地域の子どもたちも多く参加して、恐竜を通じた自然科学の学習の場を活用してくれたらいいの」とつぶやいていました。

## 私の上久下生活

ターニングターニング編 ⑥

中川 利行さん  
つや子さんご夫妻  
(北太田)



ったそうです。岡山あたりまで出掛けたりもしたそうです。

最後にたどりついた北太田の空き家の地形や家屋敷に奥さんの方が気に入って譲り受けることになったそうです。

「引っ越してきた当初は住所が大河となっていたので120軒ほどの大河自治会に入るものと思っていた。大きな自治会ですぐになじめるかと不安だったが、20数軒の北太田自治会に入ることになって喜んでる。皆さんとても親切でよかった。」と振り返っておられます。

利行さんは現役を引退されたあとと姫路の老人ホームで宿直などの仕事に就き、毎日通勤されています。ここに来て不便を感じることはありませんか？との問いに奥さんは「それほど不便に感じることはありません。むしろ子どもたちの頃に好んで過ごした田舎の雰囲気と似たところばかりを探していて、決して便利などところを探していなかったもので、今の場所がちょうどよかったと思う」と笑っておられました。

ある朝お二人で散歩の途中にイノシシが猛烈に道路を横切り、そのあとを続いてサルが追っかける光景に出くわし、一瞬びっくりしたが、山（登山）が好きなお二人はその自然豊かな光景に非常に興奮したと話されていました。運動好きで篠山マラソンには40歳代のころには5回出場された、丹波地方にも全く無縁ではなかったようです。

だんだん地域になれてくれば、自治会や地区の行事にも積極的に参加させてもらいたいと話しておられました。

(レポーター SM)

## 老壮会が 「ごもしめ縄教室を開催



上久下老壮会（小林力会長）は12月7日、小学校体育館で恒例のしめ縄教室を開き、全校生83人が参加しました。老壮会役員ら25人は前半（低学年生）と後半（高学年生）に分けて児童に正月用のしめ縄の作り方を丁寧に手ほどきしていました。

しめ縄教室は自治協議会の「生き方を育む校区事業」の一環で老壮会と子どもたちとの世代間交流を図るもので、十数年来つづく地域の学校行事の一つです。児童は指導する老壮会の皆さんの教えを真剣に聞き、しめ縄づくりに取り組んでいました。4年生の女児は「難しかったけど、教えてもらいながらうまくできたと思います。正月にお家の玄関にかけたいです」と笑顔で話していました。

## 上久下小4年生 消防団を見学

上久下小学校4年生（12名）は上久下消防団の神崎博之さん（下滝）を校外授業の講師役に招いて地域づくりセンターで日ごろの消防団の活動について学びました。今回の授業は神崎さんの息子さん（同小4年生）が是非クラスのみんなに話して欲しいとの要望から実現したもので、1時間ほど消防団の役割や活動の状況など真剣に聞いたあと、消防車に乗せてもらって色んな装置に触れては「キャーキャー」とはしゃいでいました。「是非この子たちにも将来地元の消防団を担ってほしいものです。私たちもこんなすばらしい子どもたちが安心して、楽しんで暮らせる町になるよう努めたいです」と神崎さんは1日講師を振り返っていました。



## NHKが 化石発掘体験を取材



12月15日、NHK神戸放送局は上久下小学校6年生（14名）の「元氣村かみくげ」での化石発掘体験の様子を取材しました。NHK取材班は毎週金曜日午後6時30分からの「ひょうごぶらり旅」の番組制作で丹波竜の里を訪ねました。ぶらり旅は下滝駅をスタートし、恐竜親子の足跡をたどって発掘現場を経由し、元氣村かみくげまでを取材しました。発掘現場では5次調査の始まってまもない研究員やボランティアによる発掘風景、元氣村では「恐竜焼き」や発掘体験の様子を収録しました。発掘体験に参加した児童らはカメラの前で緊張しながらもしっかりと受け答えをしていました。放送は12月17日（金）の午後6時30分から放映されました。

## 自治会レポート 注連縄づくり講習会

（上滝自治会）

上滝自治会では11月27日公民館活動の一環として昨年に引き続き注連縄づくり講習会を開催しました。神社、お寺などの注連縄を氏子、檀家で作ってはどうかということで、今まで制作をお願いしていた方々の指導で、わら打ちから大注連縄づくり、めがねづくり等を半日かけておこない立派に出来上がりました。だんだんと高齢になり作るのが大変になるので、今後も自治会員の公民館活動として続けていきたいです。

（レポーター…大前 勝次）



- 1月の予定
- ◆1月8日（土） 5次発掘調査新年初日
  - ◆1月9日（日） 新春賀詞交歓会
  - ◆午前11時～地域づくりセンター
  - ◆1月15日（土） 里づくり協議会
  - ◆例会 午後7時30分～
  - ◆1月21日（金） 自治会長会
  - ◆午後7時30分～